



あれ？これ？それ？だより

2020年7月号 No.1

発行責任:公益財団法人豊郷病院 認知症疾患医療センター長 成田 実

豊郷病院に認知症疾患医療センターオアシスを開設して25年が経ちました。4年前には在宅療養サポートセンターとよサポを開設しました。オアシスやとよサポでの相談では解決できない認知症の方が入院できる認知症対象の地域包括ケア病棟を開設して1年が経ちました。

1年間、地域の皆様のおかげで運営できたことに感謝の気持ちを込めて、この病棟の様子をお知らせする「あれ？これ？それ？だより」を発行することにしました。認知症を持つ人やそのご家族がどんなことに困っておられるのか、病院としてどんな治療をしているのか、どんなケアを提供しているのか、入院した結果どうなったのかなどを皆さんと共有することを目的とします。不定期で気ままな発行ですが、病棟のことを知って活用していただき、認知症の人とご家族の方が「共生」でき、進行を穏やかにできる「予防」の一助になればうれしいです。

オアシスのご予約は地域連携室へ 35-0001 認知症のご相談はとよサポへ 35-5096



テーマ「認知症対象の地域包括ケア病棟ってどんな病棟？」

豊郷病院には、2014年9月から51床の地域包括ケア病棟がありました。急性期病棟での治療を終えた患者さんが、在宅や介護施設での暮らしに戻る前に、退院の準備やリハビリをする病棟です。レスパイト入院（ご家族の介護のご都合による短期入院）、施設や自宅で暮らしてきた方の看取りなど地域の方の様々なニーズに応じてご利用いただいています。

当院は、今まで認知症による症状に対応する入院は、精神科病棟で受け入れてきました。しかし、精神科病棟では、精神障害の患者さんと認知症の患者さんが、同じ療養環境の中でお互いに影響しあうこともあります。そこで、認知症の方が安心して入院できる環境を整えた地域包括ケア病棟32床を2019年7月に開設しました。

認知症による暮らしの中での困りごとを解決するための病棟です。軽度の方から重度の方までおられます。ご家族やケアマネさんに十分にお話を伺います。体のチェック、認知機能検査、運動機能チェックなど総合的に判断をして原因を探り、原因に合わせた治療を行い、環境の整え方や今後の暮らし方などをご家族や介護の方々と相談しています。医師・看護師・社会福祉士・作業療法士・公認心理師・管理栄養士等がチームとなってケアを提供しています。

〈24時間の生活を看ている看護師の言葉〉

☆患者さんに「大丈夫ですよ」というメッセージを送り続けていると

必ずお互いに分かり合える部分があると思います。

☆患者さんの言動には、必ず何かのニーズや意図があって

それがわかると患者さんは落ち着いてこられます。

☆言動一つ一つにその人の生きてこられた世界があり、一つ一つに意味があり

つながっているんだと実感しています。人としてしっかり向き合うことを

教えていただいています。

